

アンケート結果

2022年1月13日

株式会社富士通総研

テーマ1：外装サイズ標準化

テーマ2：「品目-SKU」ごとに、最適なパレットサイズ活用」に係る質問

質問の分類

物流を考慮した外装サイズの取組有無

外装サイズ標準化の課題

各社現状業務への影響

受発注業務など

パレットの運用

コスト

対象SKU絞込みの考え方

メーカー工場から小売「一貫ユニットロード」

メーカー様向け
資料 5-1

① 問1
・取組み状況
・取組んでいる
→体制は？
・取組んでない
→障壁は？

④ 問2
各メーカーの商品均一化に向けた課題
・パッケージサイズ
・パッケージ入数

⑦ 問5
卸からの受注ロット変更の可能性を見据え
・生産計画/製造
・原料調達 等
への影響有無などを確認

⑩ 問6
保管・積込時の現場作業への影響を確認。
・既存 設備面
・パレット保管面 等

⑫ 問8
最適パレット導入に伴う
・新規投資コスト
・設備投資/改修コスト
・運用荷役コスト
・在庫(管理)コスト 等

⑭ 問9
対象SKUを考える際の絞り込み項目
・荷動き
・出荷ロットサイズ
・外装サイズ
・商品入数

⑰ 問10
一貫ユニットロードの
・自身のメリット
・課題
・商流上の課題
・物流上の課題
・運用上の課題

卸売業様向け
資料 5-2

②

⑤ 問1/2
各メーカーの商品均一化による影響
・受発注業務への影響
・物流費への影響

⑧ 問4
メーカーへの発注ロット変更の可能性を見据え
・発注業務プロセス
・在庫 等
への影響有無などを確認

⑪ 問5
荷卸・保管時の現場作業への影響
・保管 設備面
～ラック/自動倉庫など
・パレット一時保管面

⑬ 問7
最適パレット導入に伴う
・設備投資/改修コスト
・運用荷役コスト
・在庫(管理)コスト 等

⑮ 問8
対象SKUを考える際の絞り込み項目
・荷動き
・出荷ロットサイズ
・外装サイズ
・商品入数

⑱ 問9
一貫ユニットロードの
・自身のメリット
・課題
・商流上の課題
・物流上の課題
・運用上の課題

小売業様向け
資料 5-3

③ 問3
・PB商品の取組み状況

⑥ 問1/2
各メーカーの商品均一化による影響
・消費者への影響
・店舗業務への影響

⑨ 問5
上記⑧と同じ質問
参考までに、
小売の立場での
"考え"を確認

⑫

⑬

⑯ 問6
上記⑮と同じ質問
参考までに、
小売の立場での
"考え"を確認

⑲ 問7
一貫ユニットロードの
・自身のメリット
・課題
・商流上の課題
・物流上の課題
・運用上の課題

運送業者様向け
資料 5-4

②

⑤

⑨

問1
複数サイズパレット運用による
・積込作業
・養生作業 への影響

問3
パレタイズによる
・運賃
・料金 への影響

問4
上記⑭と同じ質問
参考までに
運送事業者にも確認

問5
一貫ユニットロードの
・自社のメリット
・課題

実態調査 アンケート実施結果について

①アンケートの対象者

本研究会の**参加委員**の「**メーカー**」「**卸**」「**運送事業者**」+「**小売**」 注：業界団体様にはアンケートではなく、個別のヒアリングを実施

②アンケート実施の目的

「テーマ1：外装サイズの標準化」、及び「テーマ2：「品目-SKU」ごとの最適なパレットサイズ活用」の**双方のテーマ**について
サプライチェーン上のそれぞれの立場で、皆さんが実現に向け認識している“課題(思い・考え)”を洗い出す。

③実施させて頂きたい「アンケート」

アンケート用紙は、上記①の**対象者ごと**に、本事業の**実施テーマごと**に構成。

- ▶ テーマ1：T11パレットの活用を前提とし “外装サイズ 標準化”に向けた検討【D F L】
- ▶ テーマ2：「品目-SKU」ごとに、最適なパレットサイズを(暫定的に)活用

注：上記アンケート用紙は、「テーマ1」及び「テーマ2」に係わる双方の質問が含まれる**“ワンセットもの”**

資料5-1のアンケート用紙	メーカー様向け	花王様・ユニ・チャーム様・大王製紙様 P & G様・リブドゥコーポレーション様・白十字様
資料5-2のアンケート用紙	卸売業様向け	あらた様・PALTAC様
資料5-4のアンケート用紙	運送事業者様向け	白十字物流様・トランコム様・ ダイオーロジスティクス様
資料5-3のアンケート用紙	小売業様向け	小売業界団体様 16社

④「アンケート」ご回答の流れ

- A：本日の研究会終了後、富士通総研より、委員の皆さま宛てにメールにて、アンケート用紙を送付。(Word)
- B：11月11日(木)までに、富士通総研宛てに、ご回答済アンケートをメールにてご回答

アンケート質問内容などでご不明な点がある場合のお問合せ先

株式会社富士通総研

担当者： 沖原・田村・亀廻井(カメノイ)

メール：fri-kamikako@dl.jp.fujitsu.com

電話番号：080-2245-0351

資料5-1のアンケート用紙

メーカー様向け

花王様・ユニ・チャーム様・大王製紙様
P & G様・リブドゥコーポレーション様・白十字様

**問 1. 貴社の物流を考慮した外装（カートン）サイズ検討に向けた取組状況についてお伺いいたします。
該当するもの1つに○印を 付けて下さい。**

5 - 1 問 1	A社	B社	C社	D社	E社	F社
1.物流を考慮した外装（カートン）サイズ決定の必要については理解しており、既に取り組んでいる	●	●	●	●	●	●
コメント	高さはトラック2段積み を前提として1パレット 上限1.1mを上限。 面はJPRS 1.1×1.1を前提とし てパレット設計	十分ではないがコストに 及ぼす影響まで考慮し ている	パレット輸送におけ る積載率向上がコ ストに大きく寄与、 又はCO2削減、輸 送品質に寄与。	T1.1型に合わせ車 両積載効率を上げ るために商品サイズ カートンサイズをリユ ニール時に変更、 実行	パレット輸送化を想 定した外装サイズ変 更の必要性を商品 開発部門など社内 共有を開始しており、 今後具体的検討に 入る段階である	・パレットの平面利 用率、体積利用率 を設計の指標とし ている。 ・パレットの積み付け 効率を商品別収支 に反映している。
2.物流を考慮した外装（カートン）サイズ決定の必要については認識しているが、取り組めていない						
3.物流を考慮した外装（カートン）サイズ決定の取り組みはしていない、する予定はない						

問1-1. 貴社における外装（カートン）サイズ検討の体制についてお伺いいたします。該当するもの1つに○印を付けて下さい。

5-1問1-1	A社	B社	C社	D社	E社	F社
1. 物流部門が、外装（カートン）サイズ決定の正式なメンバーとして参画している						
2. 物流部門は、外装（カートン）サイズ決定は意見を求められれば参画している	●	●	●	●	●	●
3. 物流部門は、外装（カートン）サイズ決定には参画していない						

問1-2.「物流を考慮した外装（カートン）サイズ」検討に向け、取組をする阻害要因として、該当するもの1つに○印を付けて下さい。

5-1問1-2		A社	B社	C社	D社	E社	F社
取り巻く外的要因	1.取引先（消費者を含む）の巻き込み・協力を得ることが困難			●			
	2.同業他社の実施に向けた合意が無ければ、自社のみでの取組は困難						
	3.その他	取引の協力を得るため便益がある場合と無い場合で対応が変わる			特になし		
内的要因	4.外装（カートン）見直しに伴う製造部門との連携が困難						
	5.外装（カートン）見直しに向けた営業部門の理解協力を得ることが困難			●			
	6.DFL（外装（カートン）変更含む）に向けた経営層の協力を得ることが困難						
	7.その他	販売営業マーケティングや生産効率が先に優先される傾向にあるE2Eでのサプライチェーン効率化への取り組みはある一方、各部門の目的が異なることにより最適ポイントへの落とし込みに時間がかかる					

問 2. 外装(カートン)サイズの標準化を実施した場合、商品パッケージサイズ及び商品パッケージ入数が、同業他社と均一化(商品の差別化ができなくなる)されてしまう可能性もあります。その際に、他社との差別化に向け、最も重要と思われるもの1つに○印を付けて下さい。

5 - 1 問 2	A社	B社	C社	D社	E社	F社
1.商品の品質等特性を変更し、差別化を行う	(●)	●	(●)		●	●
2.商品の価格を下げ、差別化を行う				●		
3.商品のパッケージデザインを変更し、差別化を行う						
4.商品のプロモーション向上を実施し、差別化を行う						
5.その他	1,3,2,4の順番で影響がでる		商品のQCDを基にした、顧客へのブランド、メーカーに対する信頼		最も重視は1ですが、2~4も視野に入れて差別化を検討します。加えてメーカーとしての物流経済合理性の改善(同一外装サイズ内にどれだけ効率よく(たくさん)商品を入れられるようにするか)の追求が考えられます	

問3. 外装（カートン）サイズの見直しをするにあたり、サイズ見直しに向けて重要と考える見直し項目について、最も重要と思われるもの1つに○印を付けて下さい。

5 - 1 問3	A社	B社	C社	D社	E社	F社
1.商品パッケージ入数の見直し				●		
2.商品入数の見直し						
3.商品サイズの見直し						
4.商品パッケージ入数と商品入数の見直し					●	
5.商品入数と商品サイズの見直し						
6.商品パッケージ入数、商品入数、及び商品サイズの見直し	●	●	●			
7.商品パッケージ入数、商品入数、商品サイズに関係なく、仕入れできるカートンサイズ						
8.その他						<ul style="list-style-type: none"> ・商品パッケージ入数、商品入数、商品サイズ（折り方変更など） ・商品パッケージサイズ（商品の挿入方向見直し、パッケージ圧縮など）

問4. 外装サイズの標準化に向けた検討、及び普及浸透に向けた活動については、誰が主体的役割をもって推進すべきと考えますか？

→ メーカー様、卸売様、小売様、の回答結果を、48頁に集約して掲載

問 5. SKU別に最適パレットサイズを適用することにより、卸からの発注ロット量の変更が生じる可能性もあります。卸からの発注ロット量を変更するにあたり、貴社に想定される課題の番号全てに○印をつけて下さい。 複数回答可能。

5 - 1 問 5		A社	B社	C社	D社	E社	F社
生産計画への影響	1. 卸からの発注ロットが変更されることにより、貴社の生産計画立案要領の見直しが必要となる	●			●		
製造への影響	2. 現在、少ロット生産（多品種混合生産など）をしており、製造の見直しが発生する	●			●		
在庫への影響	3. 製品在庫スペース（平置き・ラック等）が十分になく、保管スペースの捻出が困難である			●			
	4. 製造量に見合った出荷が無い場合、製品在庫量（保管日数）の増加が懸念される	●	●	●			
調達への影響	5. 卸からの発注ロットが変更されることにより、貴社の原料調達計画の見直しが必要となる						
	6. 原料在庫スペース（平置き・ラック等）が十分になく、保管スペースの捻出が困難である			●			
	7. 製造の見直しが発生することにより、原料在庫量（保管日数）の増加が懸念される		●	●			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・複数パレット保管による 倉庫スペースの圧迫 ・複数パレット管理のための管理コストの圧迫 ・パレット積付機械の変更、倉庫によって手積みしている場合オペレーションの複雑さが増す 						
影響なし	問題が生じない					●	● 卸を経由せず、小売物流へ納品しているため影響ない

問 6. SKU別に最適パレットサイズを適用することにより、貴社にて複数パレットサイズの運用をする必要が生じます。運用するにあたり、想定される課題について該当する番号全てに○印をつけて下さい。複数回答可能。

5 - 1 問 6	A社	B社	C社	D社	E社	F社
1. 貴社保有のパレタイザでの利用が困難となる		●	●	●	●	●
パレットサイズ		D 1,100 W 1100 H 144		D 1,300 W 1100 H 145	D1100 W1100 H140-150	D 1,100 W 1100 H 144
2. 貴社保有のパレットマガジン※での利用が困難	●	●	●		●	●
パレットサイズ		D 1,100 W 1100 H 144			D1100 W1100 H140-150	D 1,100 W 1100 H 144
3. 貴社保有の上記以外の設備での利用が困難となる可能性がある						●
保有設備						パレット搬送コンベア・デパレタイザ・自動トラックアンローダー
パレットサイズ						D 1,100 W 1100 H 144
4. 貴社保有のラック(ネステナーや棚)での保管が困難 (製品の保管)	●	●	●			●
パレットサイズ		D 1,100 W 1100 H 144				D 1,100 W 1100 H 144
5. 貴社保有の自動倉庫での保管が困難 (製品の保管)	●		●			●
パレットサイズ						D 1,100 W 1100 H 144
6. 空パレットの、保管スペース確保が困難	●	●			●	●
記述	複数パレット保管による 倉庫スペースの圧迫 複数パレット管理のための管理コストの圧迫 パレット積み付け機械の変更、倉庫によって手作業で積みつけている場合オペレーションの複雑さが増す					製造設備・物流拠点設備が全てT11用で自動化されており、それ以外のパレットを扱うためには、数十億円規模の設備改修が必要になる。
問題が生じない						

問7. レンタルパレットを使用しないことを前提として下記質問にお答えください。

Aパレットの総量管理について

レンタルパレットを使用しない場合は、パレットの総量管理が発生します。その際に想定される課題について、該当する番号の1つに○印をつけて下さい。

Bパレットのラウンドユースについて

レンタルパレットを使用しない場合は、パレットをラウンドユース（自社輸送ネットワークを活用しパレットを回収する等）する必要が生じます。その際に想定される課題について、該当する番号の1つに○印をつけて下さい。

5 - 1 問7		A社	B社	C社	D社	E社	F社	
A パレットの 総量管理	自社でパレットの総量管理の仕組みを有していない	●	●			●	●	
	自社でパレットの総量管理の仕組みを有している	2. 自社でパレットの総量管理の仕組みを有しているが、システム改修等が必要となる						
		3. 自社でパレットの総量管理の仕組みを有しているが、システム改修等をしてパレット総量管理の負荷が懸念される				●		
	その他	記述			パレット紛失			
	影響なし	問題が生じない						
B パレットの ラウンドユース	1. 現状の輸送ネットワークでは、パレットを回収できるだけの積載量の余裕が無い							
	2. 現状の輸送ネットワークでは、貴社への戻り便は、調達しておらず、物流費が増加する	●	●	●	●	●		
	3. 現状の荷役作業人員数では、回収作業(パレットの荷卸作業など)をする人員の確保が困難である							
	4. 現状のバース数では、回収作業(パレットの荷卸作業など)を行うための空きがない							
	その他					2が最も大きな課題であるが、3・4も課題となると予測します	パレットの品質管理（汚れ、異物確認）の負担、空パレット置き場の確保に課題あり 長距離のパレットラウンドユースは輸送能力のムダ使い → レンタルが有効だと考えている	
影響なし	問題が生じない							

問 8 . SKU 別に最適パレットサイズを適用することにより、新たなコストが発生する可能性もあります。その際に考慮すべき課題として該当する番号全てに○印をつけて下さい。複数回答可能。

5 - 1 問 8		A社	B社	C社	D社	E社	F社	
新規導入時	1. 工場・倉庫内設備の新規調達のコスト	●			●		●	
	コメント	パレタイザ 自動倉庫			パレタイザ-の新規導入		パレットマガジン、自動倉庫、デパレタイザ、パレット搬送コンベア	
	2. 工場・倉庫内設備の改修コスト		●	●		●	●	
	コメント	パレタイザ 自動倉庫、営業倉庫が3PL運営のためコストに影響	パレットマガジン、パレタイザ、自動倉庫、ラック	パレットマガジン、パレタイザ、自動倉庫		パレタイザ-、パレットマガジン、場合によってはコンベア、垂直搬送機、対応フォークリフト	パレタイザ、パレットラック	
	3. パレットの新規調達コスト(含むレンタルパレット)	●			●	●	●	
運用時	荷役	●	●	●			●	
	在庫	5. 在庫スペースが十分になく、保管スペースの捻出が必要。借庫などの活用も含め、保管コスト増が想定される	●	●	●			●
		6. 製造量に見合った出荷が無い場合、在庫保管量の増加が見込まれ、キャッシュフローの悪化が想定される	●	●		●		

●費用の社内配分ルール

5 - 1 問 8		A社	B社	C社	D社	E社	F社
運用時	7. パレタイズを推進していない他拠点部門に物流費を配賦するルールがある		●		●	●	●
	コメント	BasePriceを設定しトータルコストにたいしてコスト削減できる物流メニューを取引制度に導入奨励率にて還元。(工場から直接出荷 積載量の多いバラ積に奨励率を設定。別メニューでパレット単位での積載満載にたいしても奨励率設定積載効率低下によるコストインパクトは全体の影響により考慮されるが販売価格 奨励率に反映される可能性がある。	トータルの輸送コストを、各製品の荷量に応じて按分している		・各エリア拠点にて物流費の配賦	輸送コストは、発生実績に応じて製品生産原価に品種別に配賦される仕組みになっている。製品生産原価に配賦されることで、製品を販売する営業の収益にも間接的に反映される運用を取っている。	製品毎のパレタイズ効率の良し悪しを考慮して輸送コストを製品別に配賦している。
	8. 現在はルールが無いものの、近い将来導入予定である						
	コメント						
	9. ルールはなく、今後導入する予定もない			●			
その他	記述				・パレット回収費用 ・積載効率のダウンによる運賃UP		
影響なし	想定されていない						

問9. パレタイズ実施対象のSKUを選定するにあたり、どのような観点で絞り込みを実施すべきかを、優先順位をつけたうえで、下記項目から、3つ選んでください。回答は下の回答欄。

5 - 1 問9			A社	B社	C社	D社	E社	F社
荷動きの観点	荷量	1. 荷量の多いSKUを対象として絞り込み	1	1	1	1	1	1
	重量・容積	2. 重量勝ちのSKUを対象として絞り込み		3				
1回あたりの出荷ロットサイズ		3. 容積勝ちのSKUを対象として絞り込み	2				2	
	商品特性の観点	4. 1回あたりの出荷ロットサイズの大きいSKUを対象として絞り込み		2	3	2		
段ボールサイズ		5. 1回あたりの出荷ロットサイズの小さいSKUを対象として絞り込み						
	1ケースあたりの商品入数	6. 段ボールサイズの大きいSKUを対象として絞り込み				3	3	
1ケースあたりの商品入数		7. 段ボールサイズの小さいSKUを対象として絞り込み	3		2			
	1ケースあたりの商品入数	8. 1ケースあたりの商品入数の多いSKUを対象として絞り込み						
1ケースあたりの商品入数		9. 1ケースあたりの商品入数の少ないSKUを対象として絞り込み						

問 1 0 . メーカーから小売まで一気通貫でユニットロード化することによる貴社のメリットとして該当する番号全てに○印をつけて下さい。
複数回答可能。

5 - 1 問 1 0	A社	B社	C社	D社	E社	F社
1. 貴社物流センター内でのバース回転率が向上する	●					●
2. 貴社出荷から小売まで積替えなしで納品できることで、物流品質向上が期待できる	●	●	●	●		●
その他					パレット想定の場合：特にメリットはなく、卸・小売りのパレット紛失リスクのデメリットが発生する キャリー想定の場合：特にメリットはなく、キャリーへの製品積替えコスト、キャリー積載による積載効率悪化がデメリットとして発生する	・工場から小売センターまでパレットで一気通貫できれば、小売センターの要請で店舗別・売り場別・通路別にキャリー仕分けを行わなくて済む。 ・キャリー仕分け作業工数の削減、キャリー使用による積載率低下を防止できる

問 1 1. メーカーから小売まで一気通貫でユニットロード化に向け、解決/検討すべき課題として該当する番号全てに○印をつけて下さい。複数回答可能。

5 - 1 問 1 1		A社	B社	C社	D社	E社	F社
商 流	1. 「貴社・卸」間の受発注ルールの見直し	●	●	●	●	●	
	2. 「卸・小売」間の受発注ルールの見直し					●	
物 流	3. 貴社出荷時の積込機能の強化/見直し		●	●		●	
	4. 卸物流センターにおけるT C機能の強化/見直し	●				●	●
	5. 卸物流センターにおける仕分け機能(一気通貫と、そうでないものの仕分けなど)の強化/見直し					●	●
	6. 小売納入時の受入れ機能(バックヤードスペースなど)の強化/見直し					●	
	7. 一気通貫のユニットロード化に適した最適なツール(キャリアなど)の活用	●	●		●		
企 画 ／ 運 用	8. 一気通貫に適したS K Uの選定基準		●			●	
	9. ユニットロード化に適した最適なツール(キャリアなど)の円滑なラウンドユースの実施	●	●		●	●	
	10. ユニットロード化に向けた「メーカー」「卸」「小売」間の公平な費用負担ルールの策定	●	●	●	●	●	●
そ の 他	記述						<ul style="list-style-type: none"> ・SCMラベル貼付作業（1ケースずつ店舗ラベルを貼る）でパレットを崩す必要がある ・キャリアの借入輸送、キャリアの保管場所、台数管理の負担 ・キャリアに積み替えたて小売センターへ納品する際の車両積載率低下

資料5-2のアンケート用紙

卸売業様向け

あらた様・PALTAC様

問 1. 外装(カートン)サイズの標準化を実施した場合、各メーカーの商品パッケージサイズ及び商品パッケージ入数が均一化（商品の差別化ができなくなる）されてしまう可能性もあります。その際の消費者の購買行動に及ぼす想定影響について、卸売事業者のお立場で考えられる項目を、下記項目から、優先順位をつけたうえで、3つ選んでください。回答は下の回答欄。

5 - 2 問 1		G社	H社
購買行動に影響は及ぼさない	1. 商品の品質特性を基準に商品を選ぶため、外装サイズ標準化は購買行動に影響を及ぼさない	優先度 1	コメントより、 軽度失禁用品、大人オムツ
	2. 商品のパッケージを基準に商品を選ぶため、外装サイズ標準化は購買行動に影響を及ぼさない		
	3. 商品のブランドを基準に商品を選ぶため、外装サイズ標準化は購買行動に影響を及ぼさない	優先度 3	
	4. 商品入数を基準に商品を選ぶため、欲しい商品入数の商品が店頭にあれば、外装サイズの標準化は購買行動に影響を及ぼさない	優先度 2	
	5. その他		優先度 1 ①生理用品は、価格ニーズが1番高く、次いで品質性能、商品入数となります。 ②軽度失禁用品は、品質性能ニーズが1番高く、生理用品よりも購入頻度が高くなります。 ③ベビーオムツは、価格ニーズが1番高く、通販での購入構成比が年々高まっています。 ④大人オムツは、品質性能ニーズが1番高く、DRUGでの購入が半数を超え、通販での購入構成比が年々高まっています。
購買行動に影響は及ぼす	6. 商品入数等、多様な商品ラインナップの中から自身にあった商品を選ぶため、外装サイズの標準化は購買行動に影響を及ぼす。		優先度 3
7. その他			優先度 2 ①生理用品、オムツ商材については価格ニーズが高く、チラシ広告、EDLP施策等でシリーズでの売価を揃えるためにメーカー様では商品入数を変更しています。生理用品、オムツカテゴリーでのメーカー様のシェア争い、戦略等ございますので外装サイズの標準化には相当なスタミナが掛かると考えられます。

問2. 外装（カートン）サイズの標準化により商品パッケージ入数、あるいは商品入数の見直しが発生した場合、貴社業務にどのような影響が想定されるかお伺いします。該当する番号に○印を付けて下さい。

5 - 2問2		G社	H社
メーカーへの発注業務への影響	1.メーカーへの発注サイクル（頻度）が変更となる		●
	2.メーカーへの一回当たりの発注量が変更となる	●	●
小売りからの受注業務への影響	3.小売りからの受注サイクル（頻度）が変更となる		●
	4.小売りからの一回当たりの発注量が変更となる	●	●
コストへの影響	5.商品パッケージサイズ(入数変更に伴うケース数の増加)の変更により、卸～小売間の輸送コストに影響する	●	●
その他	記述	1 カートンあたりの単価が安くなる場合は仕分けコスト、配送コストに少なからず影響が出る	商品パッケージ入数見直し発生時に小売店へ発注単位変更の協力依頼が必要。ケース単位で発注頂いていた商品が商品パッケージ入数増加に伴い、バラ発注に変更となってしまった場合、バラ仕分けコスト発生の懸念があります。紙おむつはオリコンに2個程度しか入らず、別途ダンボール梱包のコストも増加する可能性もあります。
影響なし	影響は想定されない		

問3. 外装サイズの標準化に向けた検討、及び普及浸透に向けた活動については、誰が主体的役割をもって推進すべきと考えますか？

→ メーカー様、卸売様、小売様、の回答結果を、48頁に集約して掲載

問 4. SKU別に最適パレットサイズを適用(メーカーからの入荷)することにより、メーカーへの発注ロット量の変更が生じる可能性もあります。発注ロット量を変更するにあたり、貴社に想定される課題の番号全てに○印をつけて下さい。 複数回答可能。

5 - 2 問 4		G社	H社
発注業務への影響	1. 発注ロットが変更されることにより、貴社の発注業務（発注サイクル等）の見直しが必要となる		●
	2. メーカーへの発注ロット見直しは、貴社への小売りから発注ロットも併せて見直しをする必要がある	●	
在庫への影響	3. メーカーから仕入れた製品の在庫スペース（平置きスペース・ラック等）が十分になく、保管スペースの捻出が困難である	●	●
	4. 貴社から小売への納入についてバラ納入が継続される場合、製品在庫量（保管日数）の増加が懸念される		
その他	記述	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、T11サイズのPLが主流であるため形状の違うPLを扱うことにより生産性の低下とマテハン（高層ラック・自動倉庫等）に適應せず保管効率の悪化が懸念される。 ・また、小売業にも同様の問題があり、拒否された場合は卸での積み替えを余儀なくされることになる。 ・小売業への配送においてはT11型との混載が難しく、配送コスト悪化に繋がる 	生理用品、紙オムツの取扱いSKUは、家庭紙と比較して多いことから、最適パレットの種類も増える懸念があります。
影響なし	問題が生じない		

問5. SKU別に最適パレットサイズを適用(メーカーからの入荷)することにより、貴社にて複数パレットサイズの運用をする必要が生じます。運用するにあたり、想定される課題について該当する番号全てに○印をつけて下さい。複数回答可能。

5 - 2 問 5		G社	H社
保管面での課題	1. 貴社保有のラック(ネステナーや棚)での保管が困難 (製品の保管)	●	●
	パレットサイズ	D1,100 W1,100 H1,950	D1,100 W1,100 H144
	2. 貴社保有の自動倉庫での保管が困難 (製品の保管)	●	●
	パレットサイズ	D1,100 W1,100 H1,950	D1,100 W1,100 H144
	3. 空パレットの、保管スペース確保が困難	●	●
その他	記述	紙加工品専用のPLを使用するということになるとメリットは、メーカーから卸までの配送効率のみ考慮した施策であり、卸の負担が大き過ぎる	T11型パレットでの運用を標準化しているため、最適パレットでの入荷があった際は、T11型パレットへの積み替え作業が発生致します。最適パレットの種類毎に保管スペース確保が必要となります。
影響なし	問題が生じない		

問6. レンタルパレットを使用しないことを前提として下記質問にお答えください。

Aパレットの総量管理について

レンタルパレットを使用しない場合は、パレットの総量管理が発生します。その際に想定される課題について、該当する番号の1つに○印をつけて下さい。

注：パレットの総量管理は、メーカーが主体となって実施することも想定はされますが、貴社が実施することを想定のうえ、ご回答下さい

Bパレットのラウンドユースについて

レンタルパレットを使用しない場合は、パレットをラウンドユース（メーカーへの空きパレット返納）する必要が生じます。その際に想定される課題について、該当する番号の1つに○印をつけて下さい。

5 - 2 問 6		G社	H社
Aパレットの総量管理	自社でパレットの総量管理の仕組みを有していない	●	●
	自社でパレットの総量管理の仕組みを有している		
	その他		現状システム(JPR様UPR様)の回収システムに乗せない事はロスになります。
	影響なし		
Bパレットのラウンドユース	1. 現状の荷役作業人員数では、回収作業(パレットの積込作業など)をする人員の確保が困難である	●	
	2. 現状のバース数では、回収作業(パレットの積込作業など)を行うための空きがない		●
	その他		
	問題が生じない		

問 7. SKU別に最適パレットサイズを適用(メーカーからの入荷)することにより、新たなコストが発生する可能性もあります。その際に考慮すべき課題として該当する番号全てに○印をつけて下さい。複数回答可能。

5 - 2 問 7		G社	H社
新規導入時	1. 工場・倉庫内設備の新規調達のコスト	●	
	コメント	倉庫内新規調達は考えられない	
	2. 工場・倉庫内設備の改修コスト	●	●
	コメント	倉庫内設備の改修は考えられない。	重量ラックにてパレット保管の場合、重量ラック設計の変更の可能性があります。保管が不可能になります。
	3. パレットの新規調達コスト (含むレンタルパレット)		
運用時	荷役	4. SKU別に異なったパレットから荷卸しをすることにより、荷卸し作業等が煩雑 (複雑) となり、荷役作業の長時間化が想定され、コスト増が懸念される。	●
	在庫	5. メーカーから仕入れた製品の在庫スペース (平置きスペース・ラック等) が十分になく、保管スペースの捻出が必要。借庫などの活用も含め、保管コスト増が想定される	●
		6. 貴社から小売への納入についてバラ納入が継続される場合、製品在庫量 (保管日数) の増加が見込まれ、キャッシュフロー (含む 在庫管理費用) の悪化が想定される	
その他	記述		
影響なし	問題が生じない		

問 8. パレタイズ実施対象のSKUを選定するにあたり、どのような観点で絞り込みを実施すべきかを、優先順位をつけたうえで、下記項目から、3つ選んでください。回答は下の回答欄。

5 - 2 問 8			G社	H社
荷動きの観点	荷量	1. 荷量の多いSKUを対象として絞り込み	1	1
商品特性の観点	重量・容積	2. 重量勝ちのSKUを対象として絞り込み		
		3. 容積勝ちのSKUを対象として絞り込み		
	1回あたりの出荷ロットサイズ	4. 1回あたりの出荷ロットサイズの大きいSKUを対象として絞り込み	3	
		5. 1回あたりの出荷ロットサイズの小さいSKUを対象として絞り込み		
	段ボールサイズ	6. 段ボール（カートン）サイズの大きいSKUを対象として絞り込み	2	
		7. 段ボール（カートン）サイズの小さいSKUを対象として絞り込み		
	1ケースあたりの商品入数	8. 1ケースあたりの商品入数の多いSKUを対象として絞り込み		
		9. 1ケースあたりの商品入数の少ないSKUを対象として絞り込み		

問9. メーカーから小売まで一気通貫でユニットロード化することによる貴社のメリットとして該当する番号全てに○印をつけて下さい。
複数回答可能。

5 - 2 問9	G社	H社
1. 貴社物流センター内での荷役作業時間が削減される	●	
2. 貴社物流センター内でのトラックの待機時間が削減され、待機車両数が減少する	●	
3. 貴社物流センター内でのバース回転率が向上する	●	
その他		メーカー様、卸、小売ともに手作業での荷役となるため、メリットは少ないと思われます

問 1 0 . メーカーから小売まで一気通貫でユニットロード化に向け、解決/検討すべき課題として該当する番号全てに○印をつけて下さい。複数回答可能。

5 - 2 問 1 0		G社	H社
商流	1. 「メーカー・貴社」間の受発注ルールの見直し	●	●
	2. 「貴社・小売」間の受発注ルールの見直し	●	●
物流	3. メーカー出荷時の積込機能の強化/見直し	●	●
	4. 貴社物流センターにおけるT C機能の強化/見直し	●	●
	5. 貴社物流センターにおける仕分け機能(一気通貫と、そうでないものの仕分けなど)の強化/見直し	●	●
	6. 小売納入時の受入れ機能(バックヤードスペースなど)の強化/見直し	●	●
	7. 一気通貫のユニットロード化に適した最適なツール(キャリアなど)の活用	●	●
企画/ 運用	8. 一気通貫に適したS K Uの選定基準	●	●
	9. ユニットロード化に適した最適なツール(キャリアなど)の円滑なラウンドユースの実施	●	●
	10. ユニットロード化に向けた「メーカー」「卸」「小売」間の公平な費用負担ルールの策定		●
その他	記述	ユニットロードの実現のために「メーカー」「卸」「小売」の費用負担ではなく、3社ともにメリットが出るような方法を追求したい。	

資料5-3のアンケート用紙

小売業様向け

小売業界団体様 16社

問 1. 外装(カートン)サイズの標準化を実施した場合、各メーカーの商品パッケージサイズ及び商品パッケージ入数が均一化(商品の差別化ができなくなる)されてしまう可能性もあります。その際の消費者の購買行動に及ぼす想定影響について考えられる項目を、下記項目から、優先順位をつけたうえで、3つ選んでください。回答は下の回答欄。

5 - 3問 1		1000億 円~A	1000億 円~B	1000億 円~C	1000億 円~D	1000億 円~E	1000億 円~F	1000億 円~G	1000億 円~H	100億円 ~I	100億円 ~J	100億円 ~K	100億円 ~L	100億円 ~M	100億円 ~N	100億円 ~O	10億円 ~P	合計
影響は 及ぼさない	1.商品の品質特性を基準に商品を選ぶため	●	●	●	●	●				●	●	●	●				●	10
	2.商品のパッケージを基準に商品を選ぶため、	●	●	●	●		●	●		●				●	●			9
	3.商品のブランドを基準に商品を選ぶため	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●			●	●	11
	4.商品入数を基準に商品を選ぶため				●	●	●					●	●	●		●		7
	5. その他						※ 1										※ 2	
影響を 及ぼす	6.『及ぼす』：商品入数等、多様な商品ラインナップの中から商品を選ぶため							●										1
	7.その他																	
	8. 購買行動への影響はわからない																	

※ 1 : 持ち運び等考慮して極力コンパクト化で標準化

※ 2 : ケース規格統一は物流効率アップにつながりますので早急に メーカー間で協力して実施していただきたいです。トイレtpーパー長尺巻きのもののみ扱い規制かけていただきたいです。

問 2. 外装（カートン）サイズの標準化により商品パッケージ入数、あるいは商品入数の見直しが発生した場合、貴社業務にどのような影響が想定されるかお伺いします。該当する番号に○印を付けて下さい。

5 - 3問5		100億 円～M	1000 億円～ C	100億 円～O	1000 億円～ G	10億 円～P	1000 億円～ D	1000 億円～ E	1000 億円～ A	1000 億円～ H	100億 円～N	100億 円～J	100億 円～L	1000 億円～ B	1000 億円～ F	100億 円～I	100億 円～K	合計
店舗業務への影響	1.店舗棚割り業務への影響	●	●	●	●	●	●	●										7
	2.バックヤードからの品出しフェイスアップの対応頻度への影響		●	●	●	●			●	●								6
	3. バックヤードのスペース捻出などの影響		●	●	●						●	●						5
卸への発注業務への影響	4.発注サイクル（頻度）が変更		●	●					●			●						4
	5.一回当たりの発注量の変更			●		●	●	●		●		●	●					7
店舗納入物流への影響	6.折り畳みコンテナ・台車への積付効率向上の可能性等、輸送効率に影響			●	●		●		●				●	●	●			7
その他業務への影響				※ 1						※ 2		※ 3	※ 4					
	8.業務への影響は想定されない。															●	●	2

- ※ 1 : 全てに影響が出る恐れあり。カートンサイズが大きく変更ができればそれだけ陳列量に影響が出る可能性が捨てきれない
- ※ 2 : 物流側より店舗側の影響が発生すると思われる。
- ※ 3 : シリーズ内での売価統一ができるのか懸念・同シリーズでの売価設定が増⇒管理面の負担増を懸念
- ※ 4 : カゴ車等運搬数に影響を及ぼすため、積載効率に影響

問3. 貴社のPB商品のお取り扱いについてお伺いします。該当する項目の1つに○印を付けて下さい。

5 - 3問3		1000 億円 ~A	1000 億円 ~B	1000 億円 ~D	1000 億円 ~G	1000 億円 ~C	1000 億円 ~E	1000 億円 ~F	1000 億円 ~H	100 億円 ~I	100 億円 ~J	100 億円 ~K	100 億円 ~L	100 億円 ~M	100 億円 ~N	100 億円 ~O	10億 円~P	合計	
PB 取扱 商品	1. PB商品で おむつ・ナプキンいずれも取り扱いは無い					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12
	2. PB商品で おむつのみの取り扱いがある	●	●																2
	3. PB商品で ナプキンのみの取り扱いがある				●														1
	4. PB商品で おむつ・ナプキン共に取り扱いがある			●															1
外装 化へ の想 い	1.生産を委託しているOEM元のメーカーに、外装サイズの標準化を行うよう働きかけを実施する予定	●																	1
	2.現状のままとし、外装サイズの標準化について推進する考えは無い。		●	●	●														3
	3. その他（自由記述）		※1	※2															2

※1：自社内のみ流通するPBにおいては外装サイズの統一による流通面のメリットは決して大きくはなく、「業界において決定されたらそれに準ずる」というスタンスである。

※2：紙加工品にフォーカスを当てた活動を、現時点で想定していないため。

問3-1. 貴社PB商品における、外装サイズ標準化に向けた想いについてお伺いします。該当する項目の1つに○印を付けて下さい。

5-3問3-1, 2		1000億円～A	1000億円～G	1000億円～D	1000億円～B	100億円～M	1000億円～C	100億円～O	10億円～P	1000億円～E	1000億円～H	100億円～N	100億円～J	100億円～L	1000億円～F	100億円～I	100億円～K	合計
品 取 扱 商 品	1. PB商品で おむつ・ナプキンいずれも取り扱いが無い					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12
	2. PB商品で おむつのみの取り扱いがある	●	●															2
	3. PB商品で ナプキンのみの取り扱いがある				●													1
	4. PB商品で おむつ・ナプキン共に取り扱いがある			●														1

問3-2. 貴社における外装（カートン）サイズの決定の体制についてお伺いたします。

5-3問3-1, 2		1000億円～A	1000億円～G	1000億円～D	1000億円～B	100億円～M	1000億円～C	100億円～O	10億円～P	1000億円～E	1000億円～H	100億円～N	100億円～J	100億円～L	1000億円～F	100億円～I	100億円～K	合計
検討体制	1.外装（カートン）サイズ決定の 正式なメンバーとして参画 している。																	0
	2.外装（カートン）サイズ決定は、 OEMメーカーより意見を求められれば参画 している	●																1
	3.外装（カートン）サイズ決定には 参画していないが、必要性に応じて、都度参画 している。		●	●	●													3

問4. 外装サイズの標準化に向けた検討、及び普及浸透に向けた活動については、誰が主体的役割をもって推進すべきと考えますか？

→ メーカー様、卸売様、小売様、の回答結果を、48頁に集約して掲載

問5. SKU別に最適パレットサイズを適用(メーカーから卸への納入)することにより、メーカーから卸への発注ロット量の変更が生じる可能性もあります。発注ロット量を変更するにあたって、小売業者の立場で解決が必要と思われる課題を想定のうえ、該当する番号全てに○印をつけて下さい。 複数回答可能。

5 - 3問5		100億円～O	100億円～J	1000億円～F	100億円～K	1000億円～D	1000億円～E	100億円～I	1000億円～B	1000億円～A	100億円～L	100億円～N	100億円～M	1000億円～H	1000億円～G	1000億円～C	10億円～P	合計
卸からメーカーへの発注業務プロセスへの影響	1.卸の発注業務の見直し	●	●															2
	2.卸からメーカーへの発注ロット見直しは、小売りから卸への発注ロットも併せて見直しが必要	●		●	●	●	●	●	●									7
メーカー・卸の在庫への影響	3.メーカーでの製品在庫量の増加が懸念		●			●	●											3
	4.卸での製品在庫量の増加が懸念	●	●					●		●								4
	5.メーカーでの製品の保管スペースの捻出が困難										●							1
	6.卸での製品の保管スペースの捻出が困難となる	●									●	●						3
7. その他			※1								※2			※3				
8. 特に問題は生じない													●	●				2
9. 生じる課題がわからない								●							●	●	●	4

※1 : 複数のパレットサイズの管理、保管場所、トラック積載等の課題があると感じる
 ※2 : 単位、入り数の変化で小売業務の売場在庫スペースが変化するため過剰在庫が発生する
 ※3 : 小売のセンターは在庫型ならば保管日数の影響あるが、通過型センターは影響なし。

問6. パレタイズ実施対象のSKUを選定(メーカーから卸への納入)するにあたり、どのような観点で絞り込みを実施すべきかを、優先順位をつけたうえで、優先すべきと思われる項目を3つ選んでください。

回答は下の回答欄。小売業者の立場で優先すべきと思われる項目を想定のうえ、ご回答下さい。

5 - 3問6		100億円 ~N	100億円 ~J	1000億円 ~D	1000億円 ~E	100億円 ~K	1000億円 ~H	1000億円 ~A	1000億円 ~B	1000億円 ~G	1000億円 ~C	10億円 ~P	1000億円 ~F	100億円 ~I	100億円 ~O	100億円 ~M	100億円 ~L	合計
荷動きの観点	1. 荷量の多いSKUで絞込み	●	●	●	●	●	●	●	●									8
商品特性の観点	2. 重量勝ちのSKUで絞込み	●											●	●				3
	3. 容積勝ちのSKUで絞込み	●	●	●	●								●		●			6
1回あたりの出荷ロットサイズ	4. 1回あたりの出荷ロットサイズの大きいSKUで絞込み		●	●		●	●	●	●					●		●	●	9
	5. 1回あたりの出荷ロットサイズの小さいSKUで絞込み																	0
段ボールサイズ	6. 段ボールサイズの大きいSKUで絞込み				●	●	●							●	●			5
	7. 段ボールサイズの小さいSKUで絞込み																	0
1ケースあたりの商品入数	8. 1ケースあたりの商品入数の多いSKUで絞込み							●					●				●	3
	9. 1ケースあたりの商品入数の少ないSKUで絞込み								●						●		●	3
10. 絞り込みの優先すべき項目についてはわからない。										●	●	●						3

問7. メーカーから小売まで一気通貫でユニットロード化することによる貴社のメリットとして該当する番号全てに○印をつけて下さい。
複数回答可能。

5 - 3問7		1000億円～D	1000億円～F	100億円～I	100億円～L	1000億円～A	1000億円～H	10億円～P	100億円～O	100億円～N	1000億円～E	100億円～K	100億円～J	1000億円～B	1000億円～G	1000億円～C	100億円～M	合計
ユニットロード化することのメリット	1. 店舗バックヤードスペースの改善	●	●	●	●	●												5
	2. ロットで納入されることによる棚入れ作業の効率化～店舗陳列・補充など～			●	●	●	●	●	●									6
	3. ロットで納入されることによる欠品/販売機会ロスの削減					●			●	●	●							4
	4. その他				※1		※2		※3						※4			
	5. メリットについては、わからない												●	●	●	●	●	5

※1：ロット改善で人件費も削減したい。

※2：バックヤードの小さい店舗に影響が出そうである。

※3：デメリットは店舗倉庫スペースがないため対応困難な店舗がある。卸様まではメリットはあるものの小売り側のメリットは少ない。

※4：当社物流センターの運用を考慮すると、対象品のみ別運用となることで作業コストが発生することが考えられる

問 8. メーカーから小売まで一貫通貫でユニットロード化に向け、解決/検討すべき課題として該当する番号全てに○印をつけて下さい。
複数回答可能。

5 - 3 問 8		100億 円～I	100億 円～O	100億 円～J	1000 億円～ D	100億 円～N	1000 億円～ C	1000 億円～ F	1000 億円～ A	100億 円～M	1000 億円～ G	1000 億円～ E	1000 億円～ H	100億 円～K	100億 円～L	10億 円～P	1000 億円～ B	合計	
商流 上の 課題	1. 「メーカー・卸」間の受発注ルールの見直し	●	●	●	●	●												5	
	2. 「卸・貴社」間の受発注ルールの見直し	●	●	●	●		●	●	●	●									8
物流 上の 課題	3. メーカー出荷時の積込機能の強化/見直し	●	●																2
	4. 卸物流センターにおけるTC機能の強化/見直し	●	●			●					●								4
	5. 卸物流センターにおける仕分け機能(一貫通貫と、それ以外仕分け)の強化/見直し	●	●				●	●	●		●	●	●						8
	6. 小売店舗納入時の受入れ機能(バックヤードスペースなど)の強化/見直し	●	●	●		●	●			●	●		●	●	●				10
	7. 一貫通貫のユニットロード化に適した最適なツール(キャリアなど)の活用	●	●		●		●								●	●			6
企画/ 運用 上の課 題	8. 一貫通貫に適したSKUの選定基準	●	●	●	●		●	●			●					●	●		9
	9. ユニットロード化に適した最適なツール(キャリアなど)の円滑なラウンドユースの実施	●	●	●			●		●		●		●			●			8
	10. ユニットロード化に向けた「メーカー」「卸」「小売」間の公平な費用負担ルールの策定	●	●		●						●					●	●		6
	11.その他																		

資料5-4のアンケート用紙

運送事業者様向け

白十字物流様・トランコム様・
ダイオーロジスティクス様

問 1. 品目別に最適パレットサイズを適用することにより、貴社にて複数パレットサイズの運用をする必要が生じます。運用するにあたり、想定される課題について該当する番号全てに○印をつけて下さい。複数回答可能。

5 - 4 問 1		X社	Y社	Z社
積み込み作業	1. パレットサイズが多様化した際の、トラック運転者の積込作業負荷増	●		
養生作業	2. 荷崩れ防止などの養生作業要領の負荷増	●		
その他	記述	<ul style="list-style-type: none"> ・管理工数の煩雑化 ※複数サイズパレット管理による。 ・積み込み現場での荷役作業の煩雑化 ・保管工数の煩雑化 ・卸店様でも同様な工数増加 		複数規格パレットの枚数管理と回収，調達の煩雑化。11型パレットに特化したデザイン開発，変更の方が望ましい。
影響なし	問題が生じない		●	

問 2. レンタルパレットを使用しない場合は、パレットをラウンドユース（自社輸送ネットワークを活用しパレットを回収する 等）する必要がある。その際に想定される課題について、該当する番号全てに○印をつけて下さい。複数回答可能。

5 - 4 問 2		X社	Y社	Z社
1. 現状の輸送ネットワークでは、パレットを回収できるだけの積載量の余裕が無い		●		
2. 既に戻り便は別荷主の運行をしており、対応は困難	A : 回収頻度によっては、現状の車両で、対応は可能	●	●	●
	B : 現状の運行では対応困難であるが、新規備車にすれば対応可能	●		
	C : 対応は困難			
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・パレット回収自体については回収可能だが改めて環境含め再検討は必要。 ・自社パレットの管理工数の増加 ※種類が増加する懸念 	車単位での対応なら可能。（例えば、配送に利用した4t車を活用し、満載ロットで事前に回収指示を出す等）	
影響なし				

問3. 品目別に最適パレットサイズに限らずパレタイズにより積載量/運行が減少すると、荷主からの支払い運賃・料金・その他に影響がある可能性もあります。以下それぞれについて、ご回答ください。

5 - 4 問3		X社	Y社	Z社
品目別にパレットサイズ最適化に限らずパレタイズにより積載量/運行が減少すると、荷主からの支払い運賃・料金・その他に影響	1. 従量制の運賃を採用しており、荷主がパレタイズを推進すると運賃収入が減少するため、他の運賃体系とするよう交渉を行う必要がある	●	●	●
	2. 従量制の運賃ではないので運賃収入には影響しないものの、時間制(半日専属制など)なので運賃収入が減少する可能性はある			
	3. パレタイズにより、運賃収入は変化しない			
料金「荷役料・付帯作業料」	4. パレタイズにより、荷主からの支払料金(「積込料・取卸料」)の減額が想定されるが、荷役作業時間の削減のメリットが大きく、問題とならない			●
	5. パレタイズにより、荷主からの支払料金(「積込料・取卸料」)の減額が想定され、荷役作業時間の削減のメリットも小さく、問題となる		●	
	6. パレタイズにより、荷主からの支払料金(「積込料・取卸料」)は変化しない。そもそも、もらえていない		●	
	品目別にパレットサイズ最適化を適用することで生じる運賃・料金などへの影響	前提条件の乖離(料金設定)に伴う影響が生じた場合は、都度、ご相談の上、対応を頂いている。 ※配送・荷役含む		

問4. パレタイズ実施対象の品目を選定するにあたり、どのような観点で絞り込みを実施すべきかを、優先順位をつけたうえで、下記項目から、3つ選んでください。回答は下の回答欄。

5 - 4 問 4			X社	Y社	Z社
荷動きの観点	荷量	1. 荷量の多い品目を対象として絞り込み	2	1	1
商品特性の観点	重量・容積	2. 重量勝ちの品目を対象として絞り込み	1	2	
		3. 容積勝ちの品目を対象として絞り込み			
	1回あたりの出荷ロットサイズ	4. 1回あたりの出荷ロットサイズの大きい品目を対象として絞り込み		3	2
		5. 1回あたりの出荷ロットサイズの小さい品目を対象として絞り込み			
	段ボールサイズ	6. 段ボール（カートン）サイズの大きい品目を対象として絞り込み			
		7. 段ボール（カートン）サイズの小さい品目を対象として絞り込み	3		3

問5. メーカーから小売まで一気通貫でユニットロード化することによる貴社のメリットとして該当する番号全てに○印をつけて下さい。
 複数回答可能。

5 - 4 問 5	X社	Y社	Z社
1. 卸物流センターでの荷役時間が削減される	●	●	●
2. 小売での荷役時間が削減される		●	
3. トラック運転者が荷役作業から解放されることで、ドライバー不足の解消に繋がる	●	●	
その他	上記の通り効率化される部分もあるが メーカー出荷作業においては一部不具合も有り ・荷作り作業時間が増加する場合があります。 ※違うマテハンへの積替え等 ※管理工数の増加含む		

問6. メーカーから小売まで一気通貫でユニットロード化に向け、解決/検討すべき課題として該当する番号全てに○印をつけて下さい。
複数回答可能。

5 - 4 問 6		X社	Y社	Z社
商流	1. 「メーカー・卸」間の受発注ルールの見直し	●	●	●
	2. 「卸・貴社」間の受発注ルールの見直し		●	
物流	3. メーカー出荷時の積込機能の強化/見直し	●	●	
	4. 卸物流センターにおけるT C機能の強化/見直し		●	
	5. 卸物流センターにおける仕分け機能(一気通貫と、そうでないものの仕分けなど)の強化/見直し		●	●
	6. 小売店舗納入時の受入れ機能(バックヤードスペースなど)の強化/見直し		●	
	7. 一気通貫のユニットロード化に適した最適なツール(キャリアなど)の活用	●	●	
	8. 一気通貫に適した品目の選定基準	●	●	
企画/ 運用	9. ユニットロード化に適した最適なツール(キャリアなど)の円滑なラウンドユースの実施	●	●	
	10. ユニットロード化に向けた「メーカー」「卸」「小売」間の公平な費用負担ルールの策定		●	●
その他	記述	ユニットロード化は作業工数の偏りも起こりやすい。 従って、10番の公平な考えが必要。		

外装サイズの標準化に向けた検討、及び普及浸透に向けた活動については、誰が主体的役割をもって推進

資料5-1のアンケート用紙	メーカー様向け	花王様・ユニ・チャーム様・大王製紙様 P & G様・リブドゥコーポレーション様・白十字様
資料5-2のアンケート用紙	卸売業様向け	あらた様・PALTAC様
資料5-3のアンケート用紙	小売業様向け	小売業界団体様 16社

共通設問. 外装サイズの標準化に向けた検討、及び普及浸透に向けた活動については、誰が主体的役割をもって推進すべきと考えますか？該当する番号の1つに○印を付けて下さい。

5-1問4 メーカー様 5-2問3 卸売様 5-3問4 小売様		1.行政 (国土交通省)が 主導し、 推進すべ き	2.メー カーが主 導し、推 進すべき	3.卸売事業 者が主導し、 推進すべき	4.小売事業 者が主導し、 推進すべき	5.業界団体 が主導し、 推進すべき	6.事業者主 体で構成さ れる協議会 が主導し、連 携すべき	7.行政と事業 者(メーカー、 卸売事業者、 小売事業 者)が連携し、 推進すべき	8.行政と業界団 体(メーカー、卸 売事業者、小売 事業者等関連 団体)が連携し、 推進すべき	9.行政と事 業者、業界 団体が一丸と なって連携し、 推進すべき
A社										●
B社										●
C社										●
D社										●
E社										●
F社										●
G社								●		
H社									●	
小売店	1000億円~B	●								
	100億円~O		●							
	100億円~N		●							
	100億円~L		●							
	100億円~J					●				
	1000億円~A					●				
	1000億円~E					●				
	1000億円~G							●		
	100億円~K							●		
	100億円~I								●	
	1000億円~D								●	
	1000億円~F								●	
	100億円~M								●	
	1000億円~H								●	
1000億円~C									●	
10億円~P									●	